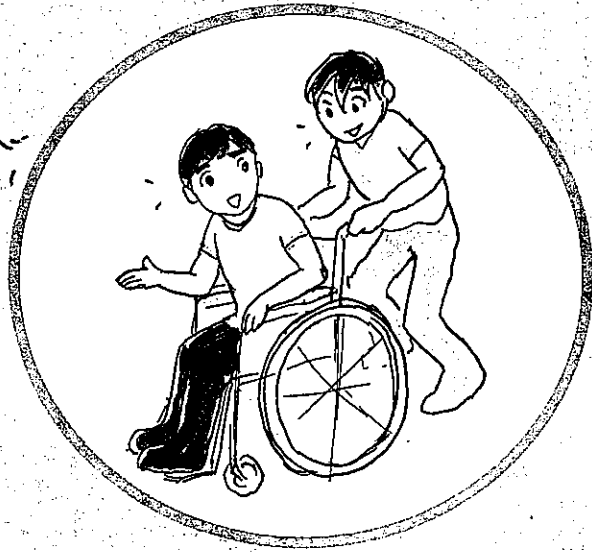


# 移動

## ◎車いす利用者や歩行が不安定な人

- 本人に何かお手伝いすることがあるか聞いてください

- 車いすを押すときは段差や傾斜、障害物に気をつけてください



## ◎視覚障がいのある人

- 肘の上を軽くつかませて歩いてください
- 段差や曲がり角などがある場合は、事前に知らせてゆっくり歩いてください
- 腕を引っ張ったり、後ろから押したりしないでください



# コミュニケーション

## ◎知的障がいのある人

- やさしい言葉で、ゆっくり話してください
- 身振りや絵を使って対応してください

## ◎精神障がいのある人

- やさしく声をかけて聞いてください

## ◎言語障がいのある人

- ゆっくり話を聞いてください（あきらめずに聞きなおしてください）

## ◎聴覚障がいのある人

- メモや身振り手振りなど使って、伝えてください
- 大切なことは文章で伝えてください



※人ごみや大きな声、音など苦手な人もいます  
避難所では…  
可能であれば、静かになれる場所を探してあげてください



# 「つたえあう・わかりあう・ささえあう」を合言葉に 障がい者・高齢者などが地域の人たちとともに あんしんして暮らすための 地域づくりをひろめています

## つたえあう

より多くの地域の方々に、さまざまな障がいのある人たちや一人では日常生活が困難な人たちが、地域で生活するにはさまざまな援助（サポート）が必要なことを知ってもらおうと努めています。そのために、地域の方々に向けて、啓発・提案・行動（アクション）などの“きっかけづくり”を積極的に起こしていきます。

## わかりあう

助けあい・支えあう活動を通じ「誰もが安心して暮らしていく」ことを幅広く提言し、地域の誰もが一緒に参加しやすい活動の場を設け、ともに理解を深めていきます。

## ささえあう

私たちは「ともに支えあう地域づくり・拠点づくり＝あんしんネットワーク」をめざし、地域の方々のみならず、市行政他関連施設・機関に対しても、この活動の必要性をPRし、活動の拠点づくりへの協力・支援を求めています。

“こだいらあんしんネットワーク”は、2008年3月に、有志の障がい者団体や市民団体、小平市民生委員児童委員協議会、小平市社会福祉協議会（社協）等が集って発足しました。

障がいのある人やさまざまなハンディキャップのある人も含めて、みんなが同じまちで、安心して一緒に暮らすためにはどうしたらよいかという問題提起を、地域のさまざまな防災訓練の場を利用して、自前のパンフットを配布するなどしてPR活動を行ってきました。

### 【参加団体】

- 小平市身体障害者協会・小平手をつなぐ親の会・小平肢体不自由児者父母の会
- 小平市視覚障がい者協会・小平市身体障害者協会視覚部会・小平市聴力障害者協会
- 小平の福祉をすすめる会 JOIN・小平市民生委員児童委員協議会
- 社会福祉法人小平市社会福祉協議会
- 小平市障がい者地域自立生活支援センターひびき・こだいらボランティアセンター

**問合せ：社会福祉法人小平市社会福祉協議会**  
**こだいらボランティアセンター**  
 小平市学園東町 1-19-13  
 TEL：042-346-1424  
 FAX：042-341-6220

# 平成24年度 災害ボランティア養成講座 災害時要援護者接し方体験報告書

小平市社会福祉協議会は、市と「災害時におけるボランティア活動に関する協定書」を結んでいることから、災害ボランティアセンターの設置訓練企画という形で、災害ボランティア養成講座受講者を対象に、障がい当事者や支援者を中心とした「こだいらあんしんネットワーク」の構成団体の協力を得て、35名で「災害時要援護者接し方体験」を独自に実施しました。

日時：平成24年9月1日（土）9：30～12：30

会場：小平市福社会館

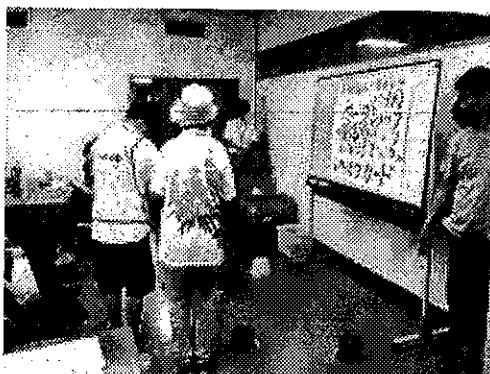
●地域活動で生かす災害ボランティア養成講座は、平成24年7月から9月にかけて、全5回開催されました。講師：災害救援ボランティア推進委員会 ほか  
 受講者は16名（男性10名、女性6名）、うち、災害時要援護者接し方体験当日は、10名（男性6名、女性4名）が参加しました。





●障がいのある方との関わり方について、「小平の福祉を進める会JOIN」のコーディネートのもと、実際に想定される状況をワークショップという形で実施し、災害ボランティア養成講座受講者に参加してもらいながら、関わり方のポイントを学びました。写真は、避難所における聴覚障がい者への情報伝達の事例。

小平の福祉を進める会JOIN ワークショップ



●同じく、JOINのワークショップより、小平市身体障害者協会視覚部会の協力による、視覚障がい者との接し方のポイントについての事例紹介。視覚障がいの方が障害物を避けて安全に歩行することができるようなサポートの方法を学びました。

小平の福祉を進める会JOIN ワークショップ



●知的障がいについての理解促進のために、総合的な学習（福祉体験）などにおいて活用している、子ども向け紙芝居の紹介を行いました。「知的障がいってなあに?」「どんなことを手助けしたらいいの?」など、初めて触れる方に分かりやすく説明しました。

小平手をつなぐ親の会による紙芝居



●小平市身体障害者協会会員によるデモンストレーション。障がい者は支援を受けるだけでなく、互いの障がいを補い合い、助け合うことができるという実例を紹介しました。写真は、車いすの方が視界を確認して指示を出しながら、視覚障がいの方が車いすを押ししている場面。

小平市身体障害者協会によるデモンストレーション



●小平市身体障害者協会視覚部会による、視覚障がい者が日常あるいは、災害時に必要となるグッズの紹介コーナー。音声で時刻を知らせる時計などを、実際に手にとって使用方法や用途について学びました。写真は、避難所などで排せつや更衣等ができるような補助グッズ。防寒着の役割も果たすことができます。

視覚障がい者のグッズ紹介



●小平市聴覚障害者協会による、筆談コミュニケーション体験。今回は、筆記用具を用いて、聴覚障がい者とのやり取りを行いながら、意図を正しく理解する難しさを知り、筆談の際に分かりやすく伝えるポイントなどを学びました。

接し方体験（聴覚障がい者筆談コミュニケーション体験）



●小平手をつなぐ親の会では、市内公立小中学校をはじめとした、福祉体験学習を実施しています。今回は、知的障がいの方の感覚の理解のため、軍手を二重にはめた状態で折り紙を折っていただきました。プレッシャーをかけられる気持ちを理解して、あたたかく見守り、分かりやすく声を掛ける大切さを学びました。

接し方体験（知的障がい者不自由さ体験）



●小平市身体障害者協会、小平肢体不自由児者父母の会では、車いす体験を実施しました。車いすを操作して、わずかな段差を越える難しさなどを体験しました。参加者からは、「時間が短かった」「もっと早く知っていたら」といった反響が寄せられました。今後もこうした体験を開催する予定です。

車椅子体験